

Pictet Global Market Watch

トランプ大統領が新薬承認プロセスの迅速化を確約

2017年1月31日、米国のトランプ大統領はセルジーンやアムジェンなどのバイオ医薬品企業を含む大手製薬企業の経営陣と会談し、新薬の承認プロセスの迅速化について確約しました。この会談を受け、新薬承認の増加への期待からナスダック・バイオテック指数は上昇しています。

トランプ大統領、製薬企業の経営陣と会談、新薬承認プロセスの迅速化を確約

2017年1月31日、トランプ大統領はセルジーンやアムジェンなどのバイオ医薬品企業を含む大手製薬企業の経営陣と会談しました。

トランプ大統領はその席で、薬価引き下げや国内生産の拡大などを求めましたが、同時に新薬の承認プロセスの迅速化を確約し、米FDA(食品医薬品局)の新しいトップを早期に任命する方針を示しました。

新薬承認プロセスの迅速化については、バイオ医薬品企業を含む製薬業界全体の研究開発コストの削減に繋がり、新薬開発を後押しするものとして好意的に捉えられており、会談当日(1月31日)のナスダック・バイオテック指数は前営業日比+2.8%上昇し、会談翌日(2月1日)についても上昇しています(図表1参照)。

新薬の承認がバイオ医薬品関連企業の株価をけん引

良好な新薬の承認環境や新薬候補の臨床試験/研究開発の進展は、バイオ医薬品関連企業の成長の源泉であり、株価の上昇要因となってきました。

今回、トランプ大統領が新薬承認プロセスの迅速化について確約したことで、さらに新薬承認に向けた環境が整うことになり、新薬承認の増加が期待されます。

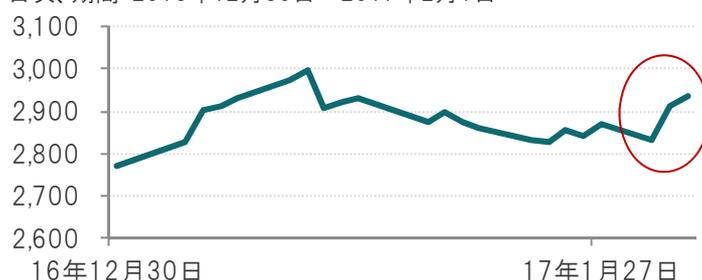
バリュエーションは過去20年で最低の水準、一方で薬価を巡る先行きは不透明

バイオ医薬品関連株式については、新薬承認プロセスによる新薬承認件数増加に対する期待の高まり以外にも、2017年も活発に推移しているM&A(合併・買収)の動きや世界的な高齢人口の増加なども株価の上昇要因となると考えます。またバリュエーション(投資価値評価)についても、大手バイオ医薬品関連企業の株価収益率(PER)が過去20年で最低の水準にあります。

一方、今回のトランプ大統領と大手製薬企業の経営者との会合でも話題となった薬価引き下げの問題については、トランプ大統領の就任前から言及されてきました。薬価の引き下げ問題については、PERが過去20年で最低の水準

図表1:年初来のナスダック・バイオテック指数の推移

日次、期間:2016年12月30日~2017年2月1日



出所:ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

図表2:大手バイオ医薬品企業の株価収益率(PER)推移

月次、期間:1997年1月~2017年1月



※大手バイオ医薬品関連企業:S&P500種バイオテクノロジー指数
出所:ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

にあることなどを考慮すると、ある程度、株価に織り込まれている可能性があると考えられます。ただし、今後、トランプ氏が公表する政策の内容次第では、バイオ医薬品企業の業績にとってマイナスとなり、株価の変動が大きくなる可能性もある点には注意が必要です。

(※将来の市場環境の変動等により、上記の内容が変更される場合があります。)

データは過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

ピクテのウェブサイトではいま注目の マーケット情報がすぐわかる！

ピクテ

検索

検索またはこちらのURLをクリック！
https://www.pictet.co.jp/top



弊社ホームページのトップ画面からご覧になる場合

お客様の「知りたいこと」がギッシリと詰まっています。



各市場の動向

注目ニュース

最新の
マーケット動向

最新トピック

今後の注目点

下にスクロールして・・・



レポートの一覧へ

マーケット	ファンド	コラム
TH 新興国企業に分散投資 者数の下落だが 2016/06/06 今日のヘッドライン	FW 競争力のある原料薬が業績をけん引するリジェネロン 2016/06/02 iTrustバイオ	BJ 投資対象を決める時、重要なことは？ 2016/05/03 ポンジュール
TH ECB、政策金利据え置き、社債 購入は5月8日から 2016/06/03 今日のヘッドライン	FW 中国A株の主要株価指数への採用の可能性 2016/06/02 新興イン	BJ ブラジル株式急上昇。気になる今後の行方は？ 2016/05/26 ポンジュール
TH ブラジルは景気後退から抜け出せるか？ 2016/06/02 今日のヘッドライン	FW 原油価格の行方、需給改善が鍵 2016/06/01 エマゴロ毎月	BJ 貴金属通貨、「めったにない状況」 2016/05/20 ポンジュール
GMW 原油価格を知る～変動要因(2)：非OPECの供給 2016/06/02 グローバル	FW 上場米で株価が177倍になったあのコーヒージャップの成功物語 2016/05/30 メジャー	BJ 5月の見直し 政治イベントを前に一目様子見 2016/05/13 ポンジュール
TH 人民元安だが、様子が違う 2016/06/01 今日のヘッドライン	FW 原油価格の行方、需給改善が鍵 2016/05/26 新興イン	BJ 追加緩和見送りで円高株安 2016/05/06 ポンジュール
TH 中央銀行も気にする、仮想通貨について 2016/06/01 今日のヘッドライン	FW 再び「成長」を取り戻せるか、経路に立つブラジル 2016/05/23 グラブラジ	BJ 貴金属価格、もしかすると膨れ上がり 2016/04/28 ポンジュール
TH 米国の金融政策を占う4つのポイント 2016/05/30 今日のヘッドライン	FW 4月世界高配当株式配当利回り～利回り差は依然高水準 2016/05/02 グロコン	BJ 「ニューズプリン」：知らなかったらグツてね 2016/04/21 ポンジュール
一覧はこちら	一覧はこちら	一覧はこちら

マーケットレポートの一覧へ

レポート一覧には、
最新レポートや今知るべきマーケット情報が多数！
業界最多水準のレポートをご用意しています。

最新のマーケット環境
を知りたい

最近話題のトピックを
おさえたい

いま注目のニュースに
ついて理解したい

こんなご要望や疑問にお応えできるレポートです！

当資料をご利用にあたっての注意事項等

当資料はピクテ投信投資顧問株式会社で作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。